

統一的な基準による財務書類の概要

統一的な基準による財務書類は、「今後の新地方公会計の推進に関する研究会報告書」（平成26年4月30日公表）等のおおりに「貸借対照表」、「行政コスト計算書」、「純資産変動計算書」及び「資金収支計算書」の4表としていますが、概要は以下のとおりです。（企業会計の書類を括弧書きしています。）

【貸借対照表】（貸借対照表） →略称： BS (Balance Sheet)

- ・ 基準日時点における財政状態（資産・負債・純資産の残高及び内訳）を表示したもの

【行政コスト計算書】（損益計算書） →略称： PL (Profit and Loss statement)

- ・ 会計期間中の費用・収益の取引高を表示したもの
→ 現金収支を伴わない減価償却費等も費用として計上

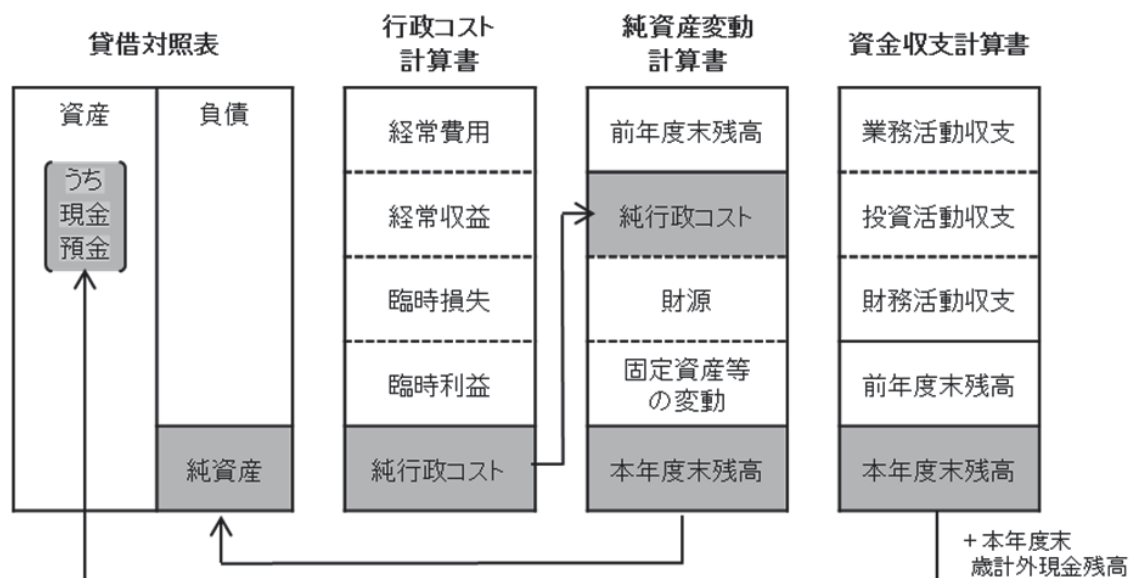
【純資産変動計算書】（株主資本等変動計算書） →略称： NW(Net Worth statement)

- ・ 会計期間中の純資産（及びその内部構成）の変動を表示したもの

【資金収支計算書】（キャッシュ・フロー計算書） →略称： CF (Cash Flow statement)

- ・ 会計期間中の現金の受払いを3つの区分で表示したもの

以上の財務書類4表の相互関係を示すと、以下のとおりとなります。



※1 貸借対照表の資産のうち「現金預金」の金額は、資金収支計算書の本年度末残高に本年度末歳計外現金残高を足したものと対応します。

※2 貸借対照表の「純資産」の金額は、純資産変動計算書の本年度末残高と対応します。

※3 行政コスト計算書の「純行政コスト」の金額は、純資産変動計算書に記載されます。